

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
52501	ポピュラー音楽論	2単位 後期	1~2	講義	久万田 晋

■テーマ 世界のポピュラー音楽史を概観する。

■授業概要

世界のポピュラー音楽の歴史、音楽的諸特徴、その社会との関係について理解を深める。

ポピュラー音楽を、市場経済、マスメディア、大衆社会がつくりだした二十世紀特有の現象ととらえ、主に北米（含イギリス）、中米、南米（ラテン諸国）、日本・沖縄のポピュラー音楽について、さまざまな視点から論じてゆく。

■到達目標

- ・各時代、各地域のポピュラー音楽を、音楽的特徴や音楽家だけでなく、その背景となる歴史的展開、社会文化状況も併せて理解する。

■授業計画・方法

1. オリエンテーション（1回）
2. 初期のジャズ、ブルース、スイング・ジャズ
3. モダン・ジャズ、リズム&ブルース
4. ソウル、ファンク、ディスコ、ラップミュージック
5. ブルーグラス、フォークソング
6. ロックンロール、ロック
7. ロックの発展形
8. ラテン音楽1 キューバ、カリブ
9. ラテン音楽2 ブラジルその他
10. 戦前日本の流行歌
11. 戦後日本の流行歌（ムード歌謡、演歌）
12. 70年代以降のアイドル歌謡曲
13. 沖縄の新民謡
14. 沖縄ポップの現在
15. 全体のまとめ、試験

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

- ・受講生は毎回の講義で取り上げられるポピュラー音楽についてできるだけ事前に学習しておくこと。
- ・講義で取り上げられた参考文献や音源、映像に目を通して復習すること。

■成績評価の方法・基準

□方法 日常の出席状況・授業態度（50%）と学期末試験（50%）の両方にもとづいて評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

世界のポピュラー音楽とそれを生み出した文化・社会状況について十分な理解ができているかどうか。
自分自身の演奏や創作意識と各ジャンルのポピュラー音楽との関係が適切に把握できているかどうか。

■教科書・参考文献（作品）等

□教科書：なし。必要に応じてプリントを授業で配付する。

□参考文献（作品）

- ・中村とうよう『ポピュラー音楽の世紀』岩波書店、1999（岩波新書）。
- ・森正人『大衆音楽史——ジャズ、ロックからヒップ・ホップまで』中央公論新社、2008（中公新書）。